二十八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓拾
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯印刷人 森合英

「實績主義」を改めよ

平の雜貨組合員

大戰爭中は持てる國と雖も凡ゆる物資が不足勝となつてそれに對抗する爲に物資統制が行はれる事は必然の事で、現下我國もかゝる狀態の只眞中にある。この統制せられたる物資の配給は、それ〱の過去何年かの實績に依つて之が決定が行はれてゐる。この事は何を基準として配給を決定するかと云ふ場合は、最も捷徑であり又かくの如く物を基準としなければ配給率が決定出來ないのは尤もの事である。然しこの實績主義に依る配給率決定は今日迄の經驗に依る時は種々の缺點が現はれてゐるのを認めざるを得ない樣である。單に過去の實績があつたと云ふのみで、現在眞に實力を持つてゐる者よりも割のよい配給を受けてゐるに反し、一方では眞に實力ありながら過去の實績におさへられ時局下能力がありながらそれを十分發揮できないといふ國家總力戰士からみて不都合な點が生じてゐる。

この實績主義一本槍では弊害が生じて問題になつてゐる折柄、去る四日の衆議院の國家總動員委員會に於て中村代議士が現今の配給統制は間違つた實績主義の上に立つてゐるから徹底的基礎調査の必要があるのではないかとの質問に對し商相は從來の實績主義は各方面から檢討して能率本位に改めたいと答辯してゐる實際單なる過去の實績主義配給統制はその弊害を現はしてゐる今日、凡ゆる角度から檢討して眞に妥當なる配給制を確立する事は各方面の要望である故に平市に於ける各種組合も實績主義の一本槍を改める勇斷をお願ひする。又牛の歩みの如き平市商業組合に於ても愼重に檢討して前車の轍をふまない樣公平なる配給をしてもらひたい。中小商工業者を壓迫して迄も物資確保する事なく現狀維持に於て中小商工業者を救ふと云ふ事になつた今日である。理事者たるもの一考再考を御願ひする。

今日の役割を演じ得るのは宗派ではない。いける宗教の信念である。魂である。（松原寬）

文藝

長生きの話

（四）

松村亨

右の樣なわけで人間は長生きをする者が少ければ少い程益々長生きをしたいと云ふ事になる。

長生きをしたいと云ふ思想は、又人間の死に對する恐怖の感からも考へて見なければならない問題である。王朝時代の歌人は「世の中は常なきものと思へども死ぬてふばかり悲しきはなし」と詠んでゐるが這般の心理を明らかにしてゐる。自然主義の母と云はれるゾラなども死を恐怖する事甚しいものがあつた。彼の母親が死んだ時家の階段があまり狹いので遺骸を容れた棺を窓から屋外へ出したが、それ以來彼は自分か或は妻かのいづれかゞ先きに死んで窓から出るだらうと考へる事無しにはその窓を正視する事が出來なくなつたと云ふ事である死の恐怖は人間共通の心理であつて、中江兆民が「一年有半」を書いたのは醫者からあと一年半しか生きぬと云はれたのに起因するのであるが、それが一年半經つて死なない事が判つたので「續一年有半」を書いた事は有名な話である

長生きをしたいと云ふ希望が長生きをする藥が欲しいと云ふ望みに變るのは當然の事で、それが嵩じて不老不死仙藥の探索と云ふ事になるのである。

不老不死の藥とか長命の藥と云はれてゐるものは澤山ある、昔から「くこ」は延壽の仙藥と云つてゐる。本草綱目によると「くこ」は一名仙人杖又は西王母杖と云ひ、「補腎藥爲滋補藥、堅筋骨、不老易顏色明目人をして長壽ならしむ」とある。普通はその枝葉をよく刻んで蔭干にして貯藏し焙爐に乾し煎じて服用する、圓機活法と云ふ本や康熙字典を見ると「くこ」を食ふと身が輕くなつて山峯を飛び登るべしとあるけれどもまさかそれ程でもあるまい、又嘉永二年九十歳の高齡で沒し、死ぬ迄遺作三萬數々の力作を殘した畫家葛飾北齋の常に用ひた長壽の藥と云ふのは「龍眼肉（皮を去り目方十六匁）大白の砂糖八匁、極上々燒酎一升を壺に入れ能く封じ、日數六十日を過ぎて朝夕猪口にて二つ宛用ふ」と云ふのである。

短歌

早春賦

金成きみ

落葉かけば下萠に見る春はうれし土の色さへうるほへるかも
一筋の道しらじらと寒けれど下萠にやゝ春を覺ゆる
山里やいで湯の春はまだ早し雪被く山を窓に見て居り
春立てど嶺の白雪に明けくるるいで湯の宿にきらうどもなし

連續講談

異說赤穗浪士

（136）

桃川若燕

畫 城木喬

義商天野屋利兵衛

『利兵衛、實は斯々の次第、赤穗離散の上からは吾々に於いて御主君の思召を相續し、隱居は遂げられたが吉良上野介を討ち奉りその首級を亡君の御靈前に供へ君の魂魄を慰め奉る心底、就ては先方は四千五百石吉良殿一名なら別段案ずる事ないが、後楯として十五萬石の上杉殿が控へてゐるその外にも吉良家を助ける者が大勢ゐる。まづ拙者の考へでは日を定めて本所へ屋敷替になつた吉良家へ乱入し御隱居上野介を討取る所存。その日はほゞ元祿十六年三月十四日殿樣三回忌の當日に事を起す考へ、併しこればかりは三月と思ふが正月に事を起すかも知れぬ。何日といふ限りはなくたゞ先方の油斷を待つて討入る事に相成る。就ては尋常で吉良邸へ推參する譯にはなるまい。それには忍道具といふ物が入用、縄梯子、小田宮流の投龕燈手松明、鎖帷子、鎖鎌その他合せて十三品を新たに作らずばならぬ。それを其方引き受けては貰へまいか』

『ハイ、承知いたしました。數ならぬ私に此の大役、もとより命を捨てゝも御恩返しをしたいと思つて居りました手前忍び道具十三品誓つてしつらひますでございます。そして必ず當年内には仰せつけのところへお送り申すやうにいたします』

『それを聞いて安心した。では確と頼んだぞ』

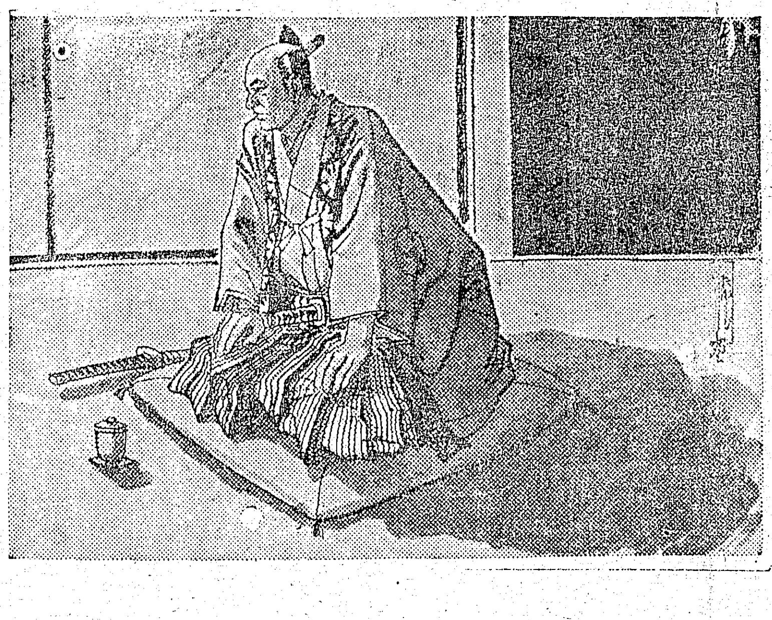
『ハイ、私も天野屋利兵衛、家にも命にも代へて必ずつくりますれば御心配ないやうに願ひます』

と密々の内に話が決まつて大石はかへる。さて大事を引き受けた天野屋は引受けたからといつて自分で造ることは出來ない。余儀なく知人の京町四丁目に鍛冶屋の藤助と頼んだ。藤助は引受けて庭へ大きな鞴を備へつける。其處へ利兵衛が行つては

『あゝしたものを造つて呉れかうしたものがいゝのだ』

といつて自分で雛形を造つて見せる。元より討入の時に用ゆるといふ事はいへない。これは船の道具だといつてドン〱やらせる。手間は二人ぶり、食事まで上等なものを利兵衛からあてがふので職人は大喜び、

『こんな旨い仕事はないな、長く續けばいゝが』



と藤助を初め力を入れて怠けずにやつてゐる。出來るとそれを家へは置かずどん〱江戸表へ送つてしまふ。送り先は堀部彌兵衛方、さて仕事が出來上ると利兵衛は藤助達を呼んで

『さて皆の衆、御苦勞でしたもう暮れの事だから一時切り上げて置きませう、貴方方も自宅へ戻つて樂をなさい玆に五十兩あるから、これは藤助さん、お前さんに上げませうそれからこの百兩は仕手方十人に僅かだが差上げる、分けて頂きたい』

『有難う存じます。ではお仕事はこれ丈でございますか』

『來春又工夫をしてすぐに仕事を初めてもらひますが貴下方に頼みがある。天野屋で斯ういふ物を造られたといはれては私が金儲けが出來ない。實は貴下方に拂ふ金も私が金儲けをしたいため來春になつてこれを賣り初めれば、初めて斯ういふ所に使ふものだといふ事が判ります。夫れまでにこの事を喋つたがために似寄りの物を造らへて他で賣り出されては私が儲からぬ。又貴下方も儲からぬし、これから先の仕事が出來ぬやうになるからどうか云はないでもらひたい。ようございますか』

『エ、承知いたしました、決して人にはいひません』

『さういつてくれると私も安心します。では早くかへつて樂をしてくれますやう……』

時局の生んだ新案特許
日の丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法…半紙節約ノ目的ニテ墨デ書イテ濡雜巾ニテ拭ツテ置ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案 メモ板 第二七九〇四號 野球ベール 第二七九七三號 興亞ノート 第二四七九八號
專賣特許 興亞扇紙 第（イ）一七三六〇號 第（ロ）一七三六一號
合資會社 興亞特許商事 同工場 月見町三三

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン サロン
平市銀座街 電話五九二番
營業時間 開店…午前十時 御食事は午前十一時より、閉店…午後十一時限り、

磐城セメント 小賣指定
大谷石を賣始めました
野內商會
平市南町 電話一一番

お醬油は（商標）
味噌、醬油 たひら正宗 鰹節、食料品
鹽屋 山崎合名會社
福島縣平市 電話營業部一〇番 本店一二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

口腔外科、齒科一般 レントゲン科
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男
小名濱町中島通

萬年筆は專門店へ
㊣2・00以上
マルオカ萬年筆本舖
岡萬年筆專門店
平市中央通り

國民精神總動員
日本國民必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
一部十錢
お取次致して居ります
平二 西村屋藥局 電三

便利で經濟な
日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしても御安心です
平市一丁目三一番地（電話七二三番）
日下家政婦會 會長 日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお教授致します）を御誘ひ致します

周旋開業
永らく料理店にて御贔負に預りました若美家が此程周旋業に轉業致しました故宜しく御願ひ致します
藝妓 娼妓 酌婦
四倉町驛前 若美家 松本キエ

大の削節
冷凍魚、鯨肉、ハム ソーセーヂ
海苔、鰹節、其他食糧品
日本水產特約
ヒノマル食品店
平市三丁目 電話三三八番

國民擧つて防火塗裝を！
□危險に曝露する木造家屋
□手輕るに出來る防火家屋
□コロイド防火塗料の特長
1、太陽無機コロイド塗料は絕大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料は他にありません
3、粘着力非常に強く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時は水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました
□大量使用の御注文並に團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店（平市仲町通り 電話二六二番）
カタログ進呈

△入院隨時▽
エツキス光線科 外科、內臟外科
安齋醫院
院長 安齋徹
平市田町 電五四七

外科、內臟外科 肛門病、皮徽科 泌尿生殖器科 專門
（看護婦及見習看護婦募集）
白土醫院
平市鎌田町 電二七九

內臟外科 整形外科
▽入院隨時△
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
平市大町

耳鼻科 咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
醫學博士 增田之
平市紺屋町 電六五一

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

外科（內臟、整形） 肛門科、性病科 レントゲン科
上田外科
院長 上田耕作
平市南町 電一二九

產科、婦人科
（見習看護婦入用）
井坂醫院
平市田町 電五五九

耳鼻科 咽喉科 專門
（入院隨意、病室完備）
大和田醫院
平市南町六 電話一七〇番

眼科專門 眼鏡檢定
重田眼科醫院
平驛前

內臟外科 整形外科 レントゲン科
松村外科
松村醫院外科部（平市南町）
醫學博士 松村亨

皮膚科 泌尿器科 性病科
江尻醫院
平市田町 電六九一
江尻伊三郎

通學生で自治會結成
交通訓練實施
各學校區域別に部隊編成

一列運動
隊列行進

乘客の交通道德は學生が先づ範を垂れて…と鐵道側の斡旋で列車通學生に自治會を組織して學生の体制を整へ規律正しい交通訓練を行ふことに成つた

平市內の磐中、磐女兩縣立學校を始めとし市立商業學校其の他各私立中等學校の汽車通學生は二千五百名を超え縣內第一位の數を示し、平驛を中心に通學區域の各驛共通學時刻には雜沓を極め乘客整理に尠なからず手を燒いてゐる爲通學生に自治的訓練を施して〃一列運動〃を起し一般乘客の垂範たらしむべく過般平驛に磐中、磐女、平商、藤田、平陽、佑賢、青年、工業、產婆、植田二校の學校長參集協議の結果汽車通學生を以て自治會を組織し四月の新學期から通學生の交通道德運動を行ふことになり會長に山森磐中校長、副會長に正木磐女校長を推薦した

新學期から結成する自治會は各學校每に委員及班長、副班長を選任し、通學生は湯本、小名濱、四倉など通學町村を區域別に上級生の責任者を定め、乘降の際に於ける一列運動から市街地步行の際も隊列を整へて行進する、列車內に於ても學生相互に秩序を維持して混雜の緩和を圖るなど學生の新体制を整へる譯である

〃交通は明朗化〃
平驛長 永井登久二氏語る

平市內の學校へ通ふ中等學校の汽車通學生は二千五百名を超え、水戶運事管內では第一位を占め縣內でも一番多いでせう、從つて通學時刻に於ける各驛の混雜は大變なものです、學生の交通德義が惡いと云ふ譯でありませんが一列運動など他に範を示すことに依つて一般乘客の秩序も維持され、混雜も緩和することになります、學校側でも當方の計畫を非常に喜んで協力して下さることになりましたから實施されると各驛とも乘客整理上大助りです、列車以外の街路へも隊列を整へて行進するとか、學校側では汽車通學生以外にも全校生徒の交通道德問題を取上げてゐるやうですから一般人も〃右にならへ〃と云ふことになり交通も明朗化するでせう

經濟違反を防ぐ
相談所の利用
平署で管內町村へ呼かける

二十四日店開きをした平署の「經濟生活相談所」は一般に利用方法が周知されないためか、警察署內にあるから遠慮するのか未だ殆んど相談に來るものがなく平署でも管內各市町村へ一般市町村民の利用方を周知せられる樣依賴狀を發し「判らない點や經濟生活に付いて困つてゐる事は遠慮なくどん／＼利用する樣に」と呼掛けた

一方市町村側では同相談所に協力、常會長、隣組長を通じ回覽板で周知に骨折ることに成り經濟犯罪を出さぬやうにお互協力する、尙ほ相談所では隣組の協力で十日內には利用するものが多くならうと期待してゐる

資本金十萬圓
小名のドラック合同

小名濱地方トラック業者のトツプを切つて合同した泉運送と小名濱運送店は株式會社資本金十萬圓で來る三月七日創立總會を開き、陣容を整備するが、本社を泉驛前に小名濱江名に出張所を置き社長として小林元藏氏常務に齊藤昌平氏支配人に元綴驛長加藤鐵治郎氏が納まる豫定である

小名警防團で
鄕土兵慰問

小名濱町警防團では今回第一線にある鄕土出身の勇士に本町發展の姿を詳細に綴り印刷物として發送慰問した

石城郡內の
体力法協議
來月二日平署に開く

平市及び石城郡國民体力法施行事務主任打合會は來月二日午前十時から平署に開き十五年度實施した体力法に依る体力檢査に基いて次の事項を協議する

△療養に關する處置命令に關する件△療養の指導に關する件△体力向上修鍊會開催の件△檢査補助者手當、市町村体力會議請求に關する件△十六年度事業豫定の件

銃後の赤誠
小名町民の獻金・寄附

時局の反映で小名濱町は諸經費の節約から國防獻金、公益協力と相次ぐ寄附申出があり町當局を感激させてゐるが、今回柳內房吉氏の五千余圓を出頭に左の如く寄附申出があつた

◇五千三百四十圓、小名濱町揚繰漁業の權威每年縣一の好漁を收めてゐる共德丸船主柳內房吉氏は今回本町第二校奉安庫造營を聽き建築費全額の五千三百四十圓を町役場に寄附することになつたので町民から尊敬されてゐる

◇三十圓、小名濱町上町齊藤正男氏は亡父の追善供養の爲め十圓を町役場へ十圓を小學校へ十圓を銃後奉公會に寄附申出をした

◇二百圓、小名濱町林の上鈴木米次郞氏は陸海軍恤兵部へ各百圓宛を獻金した

◇十圓、小名濱町定西吉田基氏は十圓を鄕軍分會へ寄附

◇二百二十圓、小名濱町上町一八丹武氏は亡父の追善供養の爲め左記團体へ貳百二十圓を寄附した、六十圓國婦會、五十圓小學校、三十圓警防團、三十圓鄕軍分會、五十圓豐國樣建造費へ獻納

農村の道しるべ
教化村『開村式』
全村民が五ケ條實踐

經濟更正村から輝く『教化村』に指定された渡邊村の開村式は今二十八日午前九時から全村小學校に擧行された

中央教化聯盟を代表し元本縣知事仝內務次官の赤木朝治氏始め縣の上塚學務部長其の他多數有力者臨席村內の各種團体は論を俟たず村民擧げて出席、神前に宣誓して仝十時から赤木氏の教化講演、仝十一時から座談會を開いて村の教化に和やかな式を終へた、尙村の教化を推進するため設立された身心修練道場『與村塾舍』の開場式も併せて擧げ五ケ條の村是を揭げて新しい村の開拓に發足した

◇自治　和やかに爭ひ事のなき村に

◇經濟　にこやかに貧しい者のない村に

◇保健　健かに日に新たな村に

◇教育　禮儀正しい秩序ある啓けた村に

◇產業　働くことを樂しみとする村に

「更正村から
教化村」へ

村の中央に建てられた木の香も新らしい「教化村」の標木を道しるべに全村團結わが村の教化に希望の發足した渡邊村は經濟更正村に指定された昭和八年頃は一戶當り千圓三十萬圓と云ふ多額の負債を背負込んで疲弊のどん底に喘いでゐた

爾來村長永山定秀、產組專務高木善枝(現村長)氏等が主となつて村の立直しに全力を傾注、振興委員會を作つて教化施設の充實、產組擴充活用、負債整理組合組織自作農創設、副業奬勵、共同收益地設定など各部落每に更生組合を結成

かくて七年間に更正村から一躍教化村として縣下に範を示す業績を擧げるに至つた

磐城中學生の
軍關係入學決定
四年生パス四名・成績向上

磐城中學の現在迄に發表されたる本年度の上級學校入學志望者中軍關係入學決定者は左の如くで昨年は陸士九名、陸經一名、海兵一名、海機二名となつてをり、士官學校は昨年より小數であるが他は斷然多く、特に陸士、海兵の如き難關を四年生より通過せるものが四名もあることは成績の優秀を物語るものであつて、陸海軍同志會の結成と相待つて將來も期待すべきものがある

△海軍兵學校、三名(四年一名)△陸軍經理學校、二名△陸軍士官學校五名(四年二名)△滿州國軍官學校四名(四年一名)

なほ五年生水島利重君は秋田鑛山專門學校に無試驗入學を許可されてゐる

學生の定期券は
所在地驛で發賣
寫眞と身分證明も必要

汽車通學生の不正乘車を防止するため四月一日から定期券の發行驛を限定、發賣は學校の所在地驛に限られ、寫眞と身分證明を必ず添付することに成つた

東京其の他大都市學生の不正防止策に實施することに成つたもので、地方には殆んど不正を發見しないが、然しこれを怠ると處罰されます、通學生は忘れぬやう四月一日までに寫眞や身分證明を揃へて置かれたいと平驛では一般學生に注意を促すことに成つた、學校所在地發賣に限定された結果平驛の學生定期券は二千五百余枚發行することに成り、同驛はこの準備に今から頭を痛めてゐる

中型農民講習
實績擧げ廿八日終了

去る八日から平市國体事務所に開催中であつた石城郡中堅農民講習會は今二十八日講習日程を了へ好成績裡に閉會した

同講習會は既報の如く男女農村青年を集め男子には炭燒き、豚鷄の飼育、氣象、測量、女子にマツサージ、生花等を授け農村中堅農民としての智識を体得せしめるにある

尙ほ終了者は來月二十一日國体事務所に開く

醬油組合

石城醬油營業組合定時總會は二十七日午後一時から平市公會堂日本間に開いた

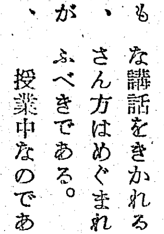
愛婦分會の
茶殼回收
二月分百九十五貫

愛國婦人會平分會では昨年より每月二十五日二千余名の會員出動で茶殼回收運動を行つて來たが二月分回收數量は百九十五貫、四十三俵の上成績を收め順次好結果を齎してゐる

植田豫算町會
一日招集
總額五萬八十餘圓

植田町明年度豫算町會は一日午前十時招集、豫算總額は五萬八千八百二十二圓で前年に比較し五千六百十六圓の增加を見てゐる

增額は土木費として大字佐糠及岩間部落の潮除設備費が大部分である



今晚　初め北西の風後南東の風曇りからだんだん晴れて來ます

明日　始め北西の風後南東の風よいお天氣に成ります

公立中等校巡り
(1)
閼伽井の峯の森を仰ぐ
印象的な學舍
(一) 磐城高女の卷

【磐城高等女學校の卷】

校歌

一、閼伽井の峯の森しげく
夏井の川の水清き
我が磐陽の學び舍に
心と身とを練りあげん
正しく强く朗らかに

二、理想は峯の高きごと
希望は川の長きごと
誠の道に一條に
あやに畏き大君の
み敎へ守り進むべし

三、過ぎし昔のすぐれたる
あとを學びて若き春
明日の盛りの花待ちて
睦びはげまんあゝ姉妹
ここ磐陽の學び舍に

（土井晚翠作）

1、訪問記（上）

磐女の正門のあたりは前方に堀のあとがあつたり大きな櫻の竝木があつたりして、花時から秋にかけてはさぞかし雅致に富んだ風景を見せるだらうと思はれる。右手の講堂櫻丘會館との映りも好い『閼伽井の峯の森しげく』と口誦みながら朝な夕なにこゝをゆききする磐女の生徒達にとつては、卒業後も幻に浮ぶ忘れ得ぬ景色の一つであらう。高台になつてゐるので見晴しが好く平窪のあたりはぼうと薄紫に霞んでゐる。※

時は二月廿一日の午前十時、暖かい春光はさん／＼として赤い講堂の屋根のあたりに降り注いでをり校庭の梅も白い花を開いて馥郁たる匂を漂はしてゐる。

正門を入つてお定まりの通り玄關に入つた。全く始めての磐女の正式訪問だ。暫くお客さんがあるといふので事務室に待たされて、校長室で正木校長先生にお目にかゝつた。校長室は入つて右の方の壁際に優勝旗が四本飾つてあり、反對側の壁際には赤いつゝぢの花が生けてあつた。矢張女學校の校長室らしい花やかな氣分が漂うてゐる、しかし校長室の体裁といふものは不思議に大抵どこでも同じだ。正木校長先生は千葉縣御出身で昭和七年以來磐女にいらつしやるのださうだから學校の事はどの先生よりも詳しい。いろ／＼のお話を承はつて講堂に案內して戴く。

◇

磐女の講堂は遠くから見ても白い壁赤い屋根が小說か映畫に出て來る女學校の一場面を連想させるやうな所があるが入つて見ると內部も綺麗であり整頓されてゐる。小田炭鑛主小田吉治氏が一萬三千餘圓を投じて建設寄附したものださうだが、講堂は學校に於ける修道の中心をなすもので寺院の七堂中の金堂にも比すべきものである。講堂に入ると大抵のやんちや娘もしやんとするものだ、我々凡人は形から心に入るものでからうした立派な講堂を持つことは學校の誇でもあれば、教育の效果を上げる上に於ても非常に宜しい金持が自分に緣故のある學校にかやうにまとまつた建物として寄附する事は非常に結構な事で、小田氏の肖像も揭げてあつたやうであるが、本校の存する限り氏の名前が人々に記憶され殘るわけで、子孫のための美田はなくなる危險があるが是なら安全至極といふものだ。正面の左側に『明倫修德』と書いに林銑十郞氏の額、左に富士山の繪が揭げてある。後には正木校長の知人の書家前田鳳堂氏が書いたといふ大きな櫻に孔雀と柏に雉子を書いた額がある。櫻丘會といふ同窓會の幹部の寄贈なのださうである。その他『溫良貞淑』と書いた森岡常藏氏のもの『忠孝一途』と書いた伊藤知事の額などがかけてあつた。こんな立派な講堂で入學式卒業式をあげいろ／＼な講話をきかれる磐女の生徒さん方はめぐまれてゐるといふべきである。

授業中なのであたりはしーんとしてゐて、かすかにピアノの音が聞えて來る。天井の飾電燈といひカーテンといひ並らんでゐる椅子といひ、全く申分がない。

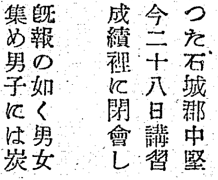
商況
（二十八日）

【野菜】

	高値	安値
葱	十五	一〇
人參	二〇	一五
油菜	八	五
ホウレン草	四〇	
牛蒡	四〇	
里芋	五五	
馬鈴薯	四五	
大根	一〇	五
白菜	……	
大和薯	一四〇	

【鮮魚】（錢單位）

目ぬき	百匁	一二、〇〇
ナメタ	同	一二、〇〇
アカジ	同	一六、〇〇
マツカハ	同	一二、一二
うで蛸	同	二八、八
平目	同	五四、〇〇
タラ	同	九一、〇〇
ムシ	同	四五、〇〇
トンコ	同	一一、〇〇
小平目	同	四〇、〇〇



舊二月四日　土曜　戊申　大安　破　氐宿
新三月一日

▲一白　福祿備れども人のため散財も多かるべき日

▲二黑　大吉盛運の日諸事進んで遂げざることなし

▲三碧　幸運も油斷の際に遁げらるゝ日愼重を尙ぶ

▲四綠　萬事達成する日開店起業普請婚談凡て良好

▲五黃　喜怒哀樂並び至るの日盜難失物病災に注意

▲六白　物事疑惑に包まれて自信を失ひ成り難き日

▲七赤　急進すれば半途に倒るゝ恐れあり漸進に吉

▲八白　願望成就すれども彼是と手出しは失敗の基

▲九紫　遲々たる運氣も怠らざれば次第に伸び行く

御會葬御禮
昭和十六年二月二十八日
平市一丁目
坂本昌藏
外親戚一同

謹告
定休日　每月二回（第一日曜日 二十日）
從來每月二十日を公休日と定めて居りましたが新体制に即應し、店主店員の修養日として新たに第一日曜日にも休業することになりました
貸賣廢止
凡ての取引が現金化致しましたから在來の掛賣通帳賣を廢止することになりました御諒承願ひます

公定價格嚴守
販賣商品の價格に疑はしき點ある場合、遠慮無く當事務所電話二二三番へ御問合せ下さい
昭和十六年二月
平市田町銀座通り
平菓子商業組合
電話223番

純綿純毛品提供に就て
◎純綿、純毛の更生品提供に就て當店主伊關房次は日露役に參加し奉天戰に負傷、傷痍軍人の呉服商となつたが今支那事變に資材充分でないところから商業組合理事として配給使命を達成すべく全國產地を視察見學の際思ひ付たのが更生品の配給である、これならば農山村から確かに喜ばれ樣と昨年から始めたところが異常な好評を受けてゐるのであります、どうぞ御遠慮なく御覽下さい
純綿、毛オーバ
背廣、ジャンバー
野良着、ズボン、
カスリ、その他
平市二丁目角
伊關呉服店
電話三三三番

覇車180型(トラック)
新型ニツサン號發表
斯界待望の新型車を愈々三月二日陳列發表致します
◆機構特色
機關室の通風良く過熱を防ぎパイプ內のガソリンの氣泡化に依つて流通を防げる。所謂ベーパーロツクの故障も防止、又電氣系統の過熱に依る故障も減少される。機關の手入が容易である、運轉座席が廣濶となり三人樂々と乘られる▽エンヂンにタイミングギヤを採用△大型ラジエーター採用△更に頑强なる後車軸採用
期日　三月二日(日曜日)
場所　福島ニツサン自動車販賣株式會社
平營業所
平市南町　電話三八一番